

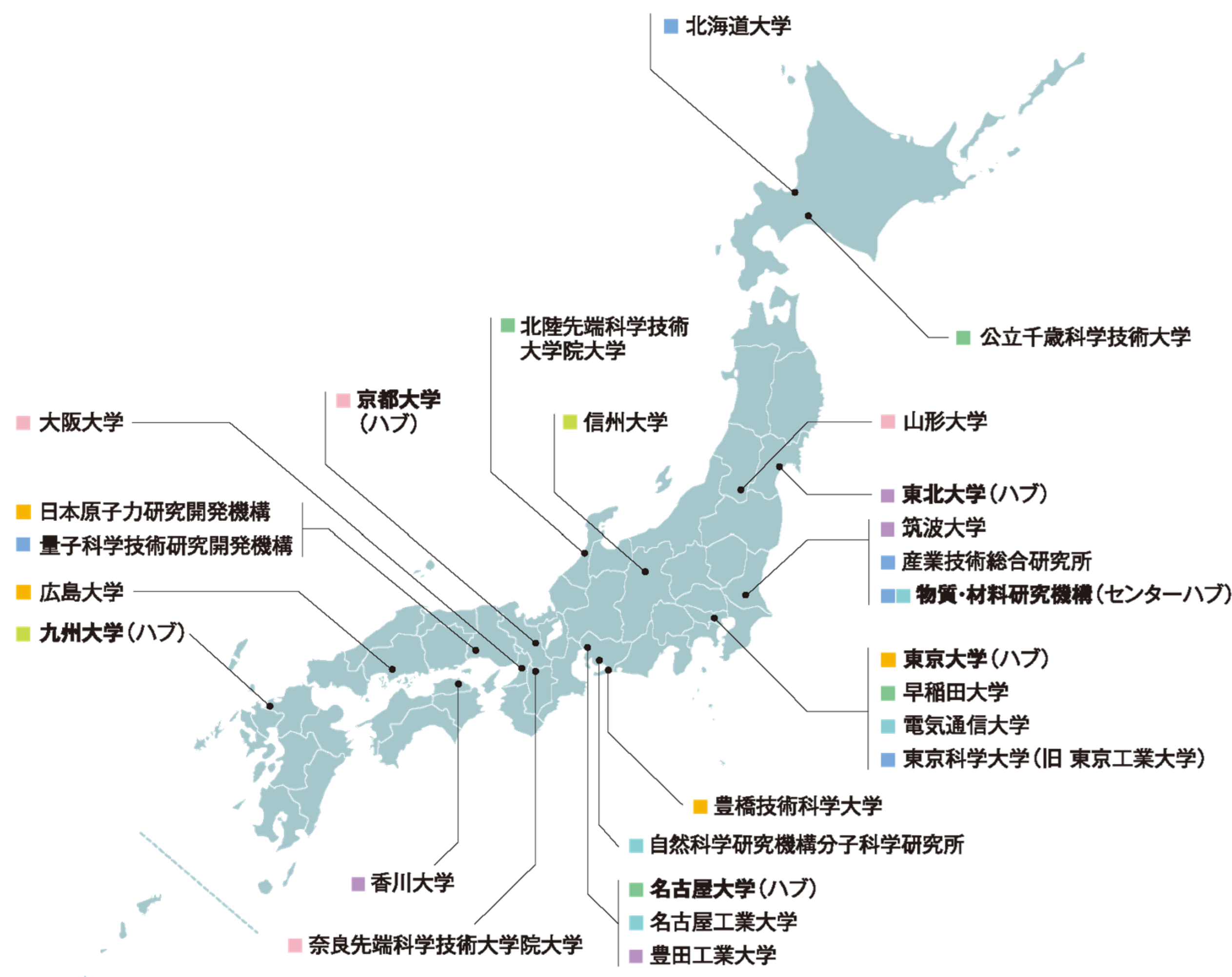
# 文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM)

～ 最先端研究設備の利用とマテリアルデータの利活用 ～

## ARIM の特徴とポイント

Key Features and Highlights of ARIM

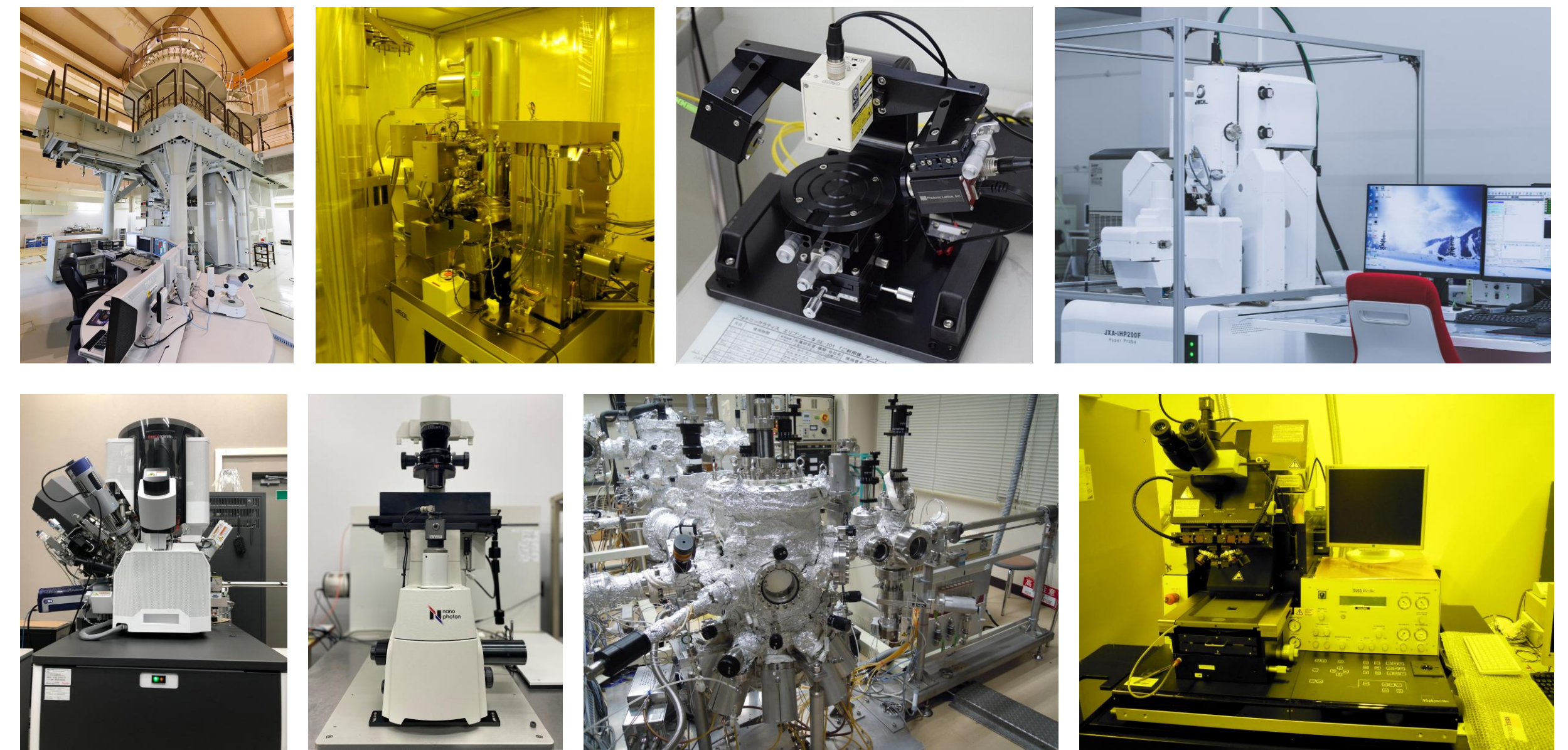
1. 全国的な設備利用ネットワーク
2. データ利用サービス
3. 半導体分野への研究支援の増強
4. 日本のマテリアル革新力の強化



## 設備利用

Facilities Use

- ✓ 1200 台以上の多種多様な設備が利用可能
- ✓ 専門技術スタッフによるオペレ・代行・アドバイス



## データ利用

Data Use

設備利用によるマテリアルデータやプロセスデータを AI-Ready の形で蓄積。ご利用には会員登録とライセンス申込みが必要。

[https://nanonet.go.jp/data\\_service/](https://nanonet.go.jp/data_service/)



## 推進体制

Project Organization

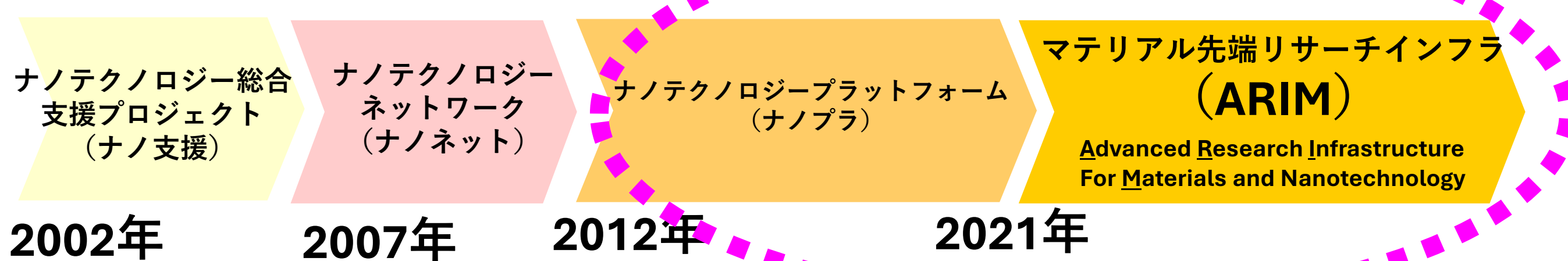


各領域に強みを持つ先端装置群を提供するハブ機関と特徴的な装置・技術を持つスポーク機関からなるハブ&スポーク体制

## 設備共用事業の発展

Development of the Shared Facility Projects

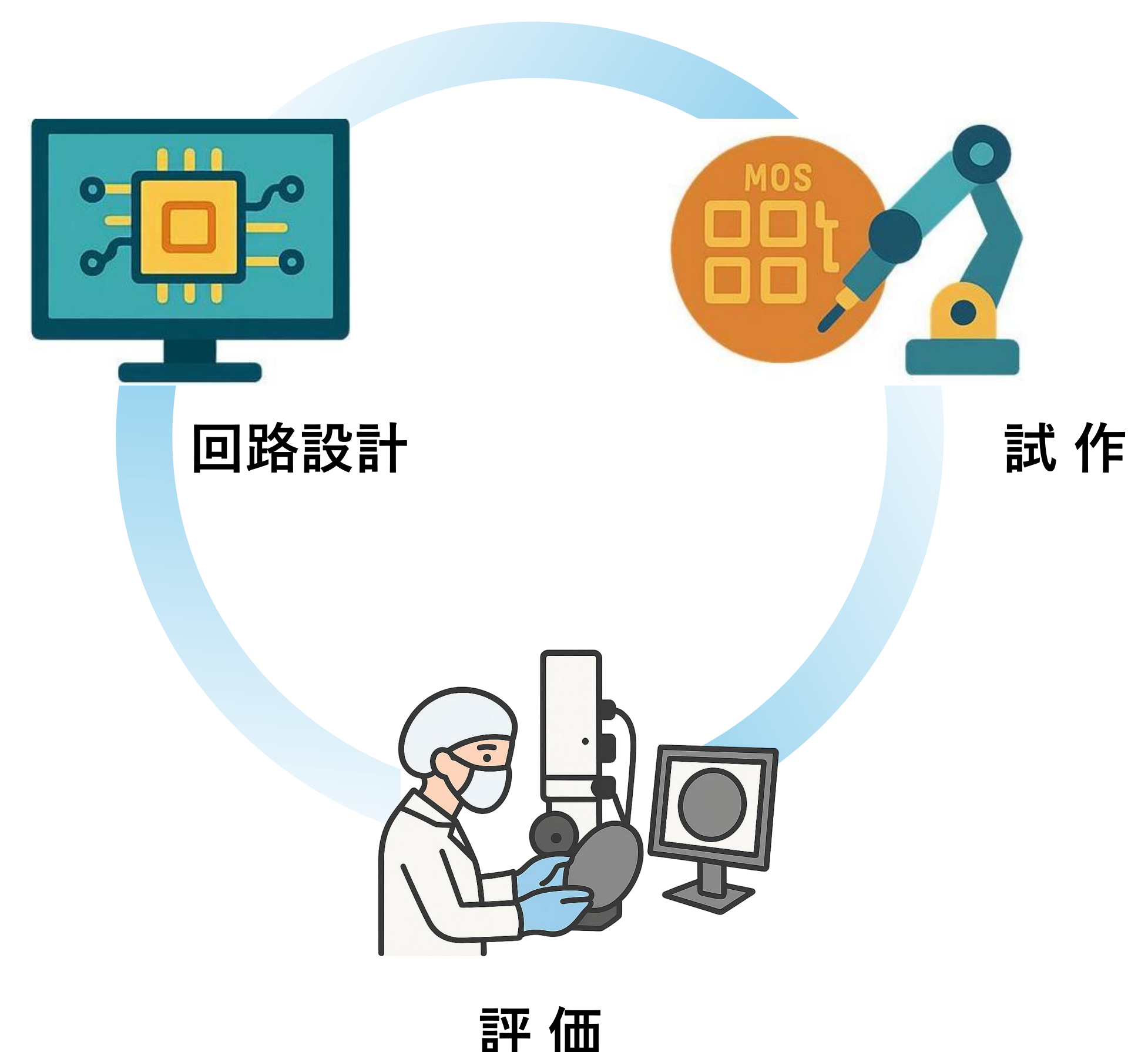
ナノテクノロジープラットフォームのコンセプトを継承し、研究設備利用に加え、データ利活用という新サービスを提供



## 半導体基盤プラットフォーム (ARIM-SETI)

Semiconductor Technology Infrastructure

半導体の研究開発基盤「回路設計・試作・評価」をワンストップで提供



CONTACT

マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ 運営室  
〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1  
国立研究開発法人 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門  
<https://nanonet.go.jp/>

